

6: 大満寺ハイキングコース

～ 所要時間の目安 ～

登山口 - 40分 → 大満寺 - 30分 → 分岐A
 - 20分 → 乳房杉 (分岐B) - 10分 → 鷹ヶ峰口
 - 20分 → 大満寺山頂 - 20分 → 大満寺 - 30分
 → 登山口 歩行約3時間コースです。休憩時間
 を入れると約4時間が目安です。



■ 大満寺



■ 切り株

現在の満寺の本堂は明治45年に再興されたもので、かたい塙みが進んでおり、本堂に安置されていた石仏などは境内の右側に避難されている。山頂方面は本堂右側から目指します。杉林を歩いてすぐ左側に歴代の僧侶の墓がある。

間伐などで切り株が所々にある。その切り株をよく見ると、コケ、きのこ、スギの芽生などそこには数種類もの植物が集まり木の養分を吸収している。同じものはひとつと無い。木漏れ日が切り株を照らす時、森のステージとない、何か始まるような雰囲気がある。



■ 銚子ダム

頂上からダム湖(伊賀湖)が見える。

西郷・銚子ダム方面

南谷林道

鷹ヶ峰ハイキングコース 参照

看板

駐車スペース

Sは階段のおおひこの段数



有木川
 駐車スペース
 登山口
 ★お地藏さん
 西郷・有木方面



登山口から大満寺まで約35体の石仏が点在している。今でも地元の方が世話をしており、新しい前掛けがきちんと掛けられている。

四方八方に大きな根が大地に張り巡らされている。何か巨大なタコが居座っているような雰囲気がある。枝は長年の風雨にさらされ、真っ直ぐに伸びているものは少ない。幹の袂には石仏が数体あり、この木を守っているのかもしれない。

周囲約2mはあるモミの木が数本ある。昔は群落を形成していたと言われる。数度の伐採により現在は数える程の大木しか残っていない。腕を広げて抱きついたり、上を見上げてみよう。大きく真っ直ぐに空高く突き抜ける様相に何を感ずるか? また、ちょっと匂いを嗅いでみよう。

杉の人口林を歩くと、谷川の音がこだまして響いてくる。安定かつ不安定な音色が、心地よさを感じるかもしれない。

山の谷にできた谷川。ここでひと休憩して、ちょっと手を洗ってみませんか? 冷たいのが、暖かいのが、やわらかいのが。自然の水の中に手をつける事がない時代、貴重な体験がもしもせん。



■ 大満寺山 (607m)

ほぼ360度展望ある事ができ、島後(とうご)の山々、西郷港を中心に集落、隠岐空港が見える。また、隣の島、島前(とうぜん)や天気が良いと、島根半島、鳥取の大山が眺望できる。

フェリーが入出港ある時、汽笛が響こえる事がある。

照らされる太陽の暖かさ、吹き抜ける風の心地よさを感じながら山頂でお弁当やお茶をして見てはいかがでしょうか。



■ 大満寺 水道

● 僧侶のお墓

● 乳房杉

● 玄武岩の岩場と風穴

● 湯水

● 乳房杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

● 窓杉

飲み放題! 谷から引いてある。お寺の鐘撞堂の下にある

大満寺山 (607m)

急な斜面でロープが張られている

切り株 ★

窓杉 ★

分岐A

分岐B

分岐C

分岐D

分岐E

分岐F

分岐G

分岐H

分岐I

樹齢は約800年といわれ、樹高30m、主幹は5本に分岐し、その分岐している部分から大小24個もの乳房状の根が垂れ下がっています。周囲は夏でも涼しく、特に雨上がりには霧が立ち込め、とても神秘的な雰囲気です。

白い板に「窓杉」と書いてある看板が足元にある。登山道から右下方向を見ると、杉林の中に大きな少し異型の木が見える。窓杉は、枝の一部が引き裂かれ、大きな楕円形の穴が空いているように見える。近くまでの道は整備されていないが、窓杉まで行き見上げると枝の一部が繋がっている状況を確認できる。